資料 3

流域治水・減災対策に係る取組状況
（各機関の取組事例）

釧路市Webハザードマップ運用開始、津波避難訓練

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（釧路市の取組事例）

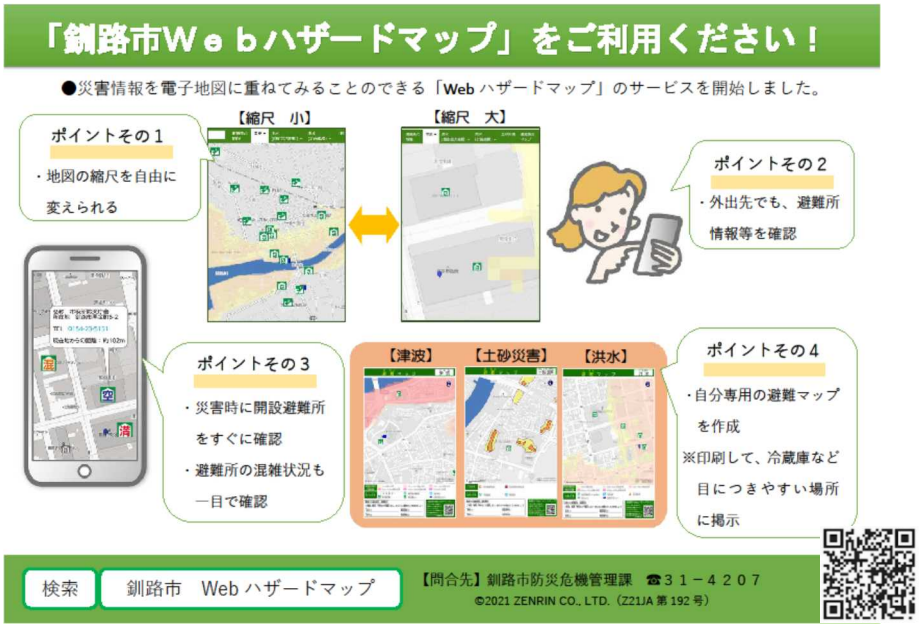
◆電子地図上にハザードマップを重ねて確認できる「釧路市Webハザードマップ」を令和３年１０月１日より運用を開始した。
◆地域住民の防災意識向上、各関係機関の連携強化を目的として、津波避難訓練を実施した。

釧路市Webハザードマップ

・令和3年10月1日より運用開始
・スマートフォンなどで外出先でも避難所の開設情報などを確認することができる
・外国人にも対応可能（英語）

釧路市津波避難訓練

・令和3年10月15日（金）
・昭和地区連合町内会他　17機関・約200名
・救急救命訓練、避難所開設・運営訓練　等



救急救命訓練

避難所開設・運営訓練
（救援物資の搬送）

防災研修会の実施

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（釧路町の取組事例）

1.巨大地震への備え：総合防災訓練（昆布森西地区）
2.地域防災力を向上させる拠点整備：（仮称）セチリ地区防災交流センター整備事業
3.情報伝達方法の多様化と充実：釧路町情報提供アプリ「PokeL（ポ・ケ・ル）」の稼働
4.地域共助体制の整備促進：各種研修・訓練

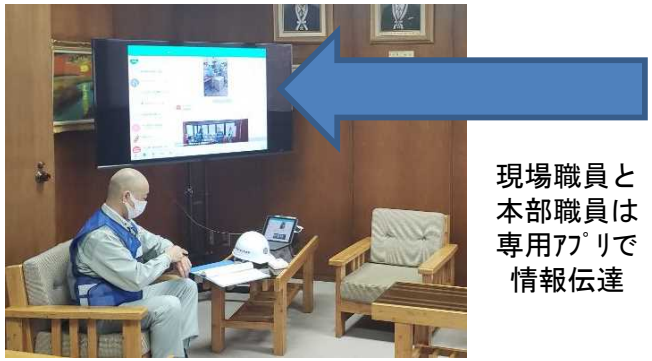
各種取組（詳細）

■総合防災訓練（R3.11.6）
昆布森地区で26.5m（到達時間29分）の大津波に備え、昆布森西地区を対象に情報伝達訓練、津波避難訓練、避難住民輸送訓練、避難所開設訓練、地震・津波防災講演を実施

■（仮称）セチリ地区防災交流センター整備事業
人口の約半数を占めるセチリ地区の防災拠点として旧河川事務所を取得し、令和5年度までにフルオープンを目指す

■防災セミナー
自主防災組織の連携と厳冬期の避難所生活をテーマにセミナーを開催した

総合防災訓練
令和３年１１月６日



現場職員と本部職員は専用ｱﾌﾟﾘで情報伝達

自治体用チャットアプリ LoGoチャット

LG回線を使用したチャットアプリを令和 3 年度から稼働開始

現場派遣職員と本部職員が、指示内容と各地の状況をリアルタイムで共有することにより、迅速且つ正確な対応が可能となった。

防災セミナー
令和３年１２月１１日
（仮称）セチリ地区防災交流センター

厳冬期の避難所を再現するため、暖房等を使用せずに開催せず、会場の室温は約7℃に設定した

避難所運営ゲーム（HUG）の様子

ダンボールベッドの組立訓練

避難所設営訓練、防災教育の実施

（厚岸町の取組事例）

◆ 災害発生後における避難所の設置、運営方法を学ぶため、町職員を対象として、新型コロナウイルス感染症対策に留意した避難所設営訓練を実施した。
◆ 防災に関する知識を学び、防災意識を高めることを目的として、小学生を対象とした防災教室を実施した。

避難所設営訓練の実施

・令和３年９月２５日（土）
・町職員　５７人
・避難者受入訓練、避難者用テントの設営等を実施

避難所設営訓練

防災教育の実施

・防災動画の上映、授業により、災害や避難場所等に関する基本的な知識を学び、防災力の向上を図った。
・段ボールベッドの組み立てを体験

厚岸小学校防災教室

浜中町役場新庁舎の防災拠点としての機能

（浜中町の取組事例）

◆ 住民生活の安全を確保する防災拠点としての役割を果たすため、『防災機能が充実した庁舎』を新庁舎建設基本計画の基本理念として、新庁舎を高台へ建設。（令和3年1月開庁）

防災拠点としての機能

- 免震構造　…災害時に行政機能の維持が可能
- 避難所機能…避難者収容人数５８０人
- 防災発電棟…電気の供給５００KVA（避難エリア３日分）
- 防災貯留槽…飲用水・生活用水の供給
  ７８０トン（１０８０人×７日分）
- 緊急汚水槽…汚水等の貯留
  ２５０トン（５８０人×７日分）

・防災管理室…防災機能を集約（水門遠隔操作等）

津波による浸水被害を受けない高台への移転

速やかな避難を実現する避難道路

各種計画等の改訂、防災教育の実施

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（標茶町の取組事例）

◆ 標茶町地域防災計画をはじめ、各マニュアル（避難所運営、職員初動等）の全面改訂および一部改訂を行っている。（令和４年３月改訂予定）
◆ 市街地町内会を対象とし防災研修を実施した。また、町内の小学校及び高校にて１日防災学校を実施した。

「いざ」に備える　みんなの防災研修会

・北見工大の高橋教授をお招きし、防災・減災の必要性について講義いただいた。
・グループに分かれ、融雪期に大雨が降った想定でＤｏはぐを実施した。

防災教育の実施（１日防災学校）

・標茶高校にて１日防災学校を実施。
・１学年と３学年はマイタイムライン作成をテーマに実施。
２学年はＤｏはぐを行い、避難所運営時の問題点を解決し、高校生ならではの視点からの防災力の向上を図った。

オンライン会議システムを活用した訓練の実施

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（標茶町の取組事例）

◆ 平成30年10月に標茶地区水害タイムライン試行版を作成。
◆ 令和2年度には、実際の水害対応や訓練等を踏まえて、融雪期の出水に対応した水害タイムラインに更新（第2版）。

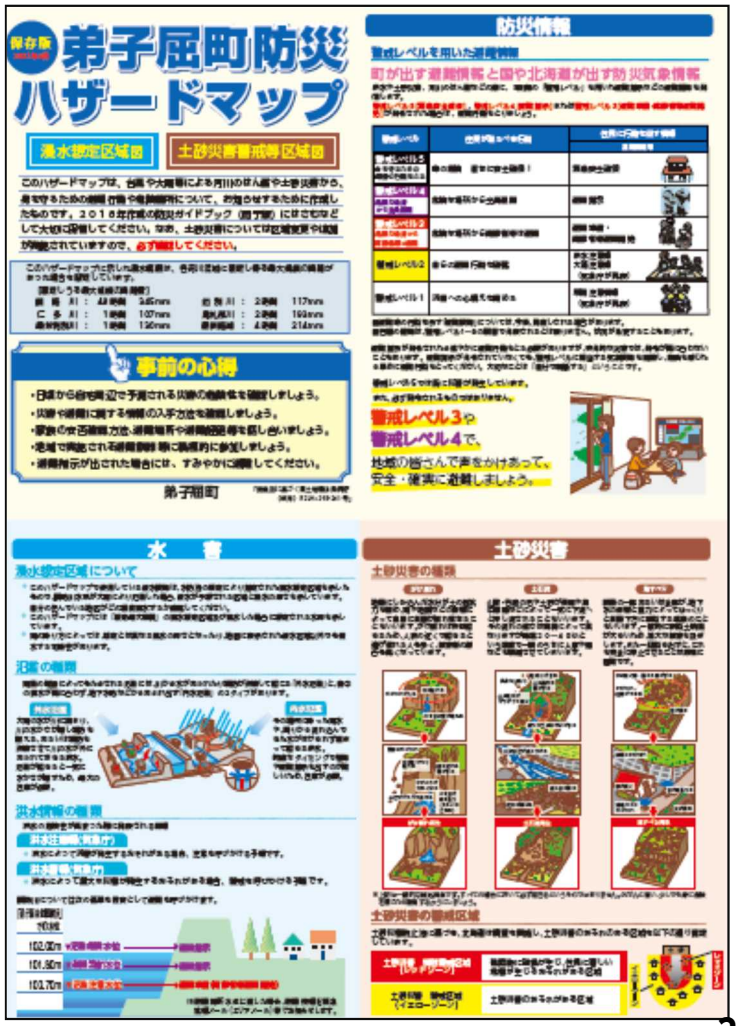
・令和４年２月２２日（火）
・融雪期の出水を想定して、釧路開発建設部と合同で訓練を実施
・オンライン会議システムを活用して、各対策班は自席において対応しながら、対策本部からの指示、被災状況の報告、リアルタイムでの情報共有等を行った。

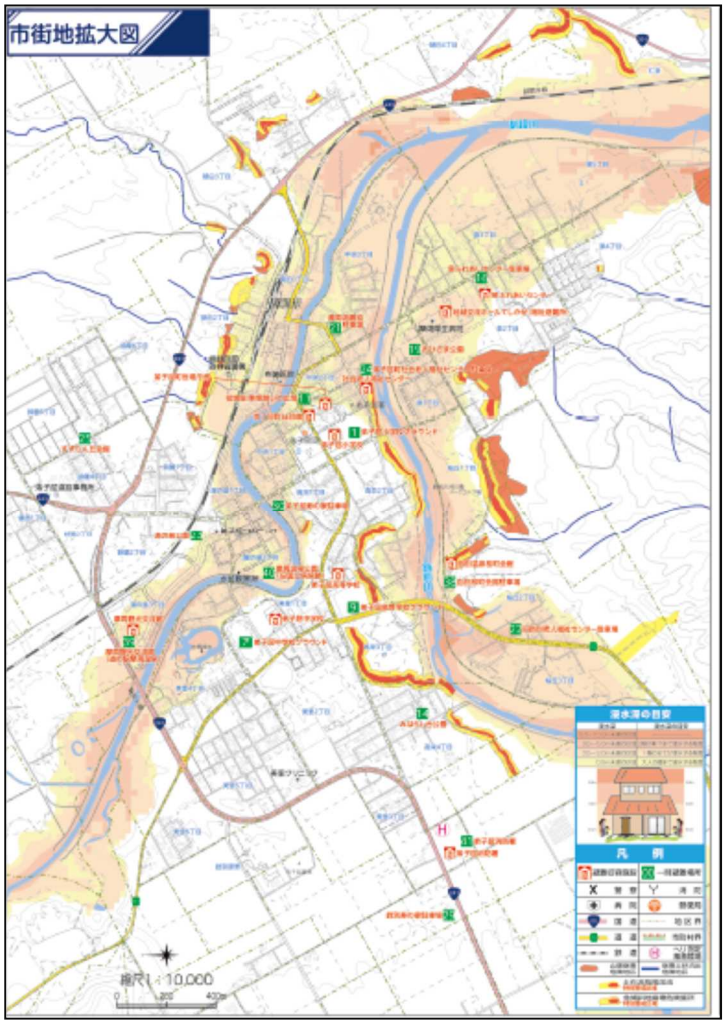
オンライン会議システム

各対策班及び釧路開発建設部の訓練状況

（弟子屈町の取組事例）

町は、考えられる自然災害を想定しつつ、平成30年4月に配布した弟子屈町防災ガイドブックを補完することを目的に「弟子屈町防災ハザードマップ（浸水想定区域図・土砂災害警戒等区域図）」を策定し、広報４月号とともに町内全戸に配布します。新しいハザードマップは、これまで未策定であった「釧路川上流（摩周大橋より上流部）及び釧路川の支流である鐺別川、最栄利別川、仁多川、尾札部川の浸水想定図につきましても釧路建設管理部が簡易な手法により策定した地図に基づき掲載しております。





災害対策用ドローンの整備、村立学校における防災教室

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（鶴居村の取組事例）

◆ 災害発生時のドローン活用による初動対応の強化や二次災害リスク軽減等の可能性に着眼し機体を整備。適正な運用を図るため各種講習会に参加した。
◆ 災害時における基本的な行動を理解するとともに、防災意識を高めることを目的として、中学生を対象とした防災教室に講師として参加した。

災害対策用ドローンの整備

・今年度は災害発生時の利用事例はなし
・操作技術の向上や各種関係法令の把握など、安全な運用に資するための講習会に参加

鶴居中学校防災教室

・令和３年１０月８日（金）
・鶴居中学校　生徒２２名
・救命救急訓練、避難所設営等訓練、防災クイズ

整備機体（DJI Phantom4 ProV2）

操作講習の様子

段ボールベッドの製作・利用体験

備蓄食糧の実食体験

町内小中学生に対する防災教育

（白糠町の取組事例）

◆ 有事の際の安全に行動できる能力や態度を育成するため、小学生を対象に低学年、中学年、高学年に、内容を分け、１日防災学習を実施した。
◆ 中学１年生を対象とした長期的なスケジュールによる、１泊２日の防災宿泊学習を含む防災教育を実施した。

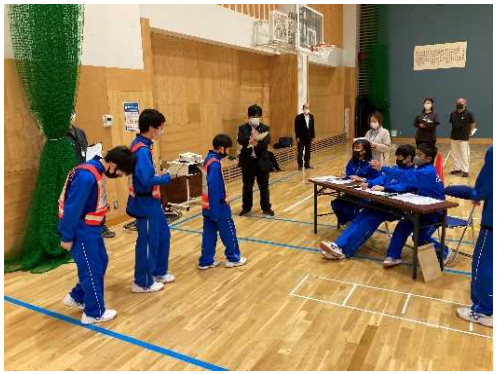
白糠小学校防災ワンデー

・令和３年10月実施、小学生、教員等１４０人が参加
・低学年、中学年、高学年に分け、講話を行い、その後低学年は防災カルタ、中学年は避難所運営訓練、高学年は避難所運営ゲームを実施

白糠小学校防災ワンデーの様子
上段左から低学年、右側中学年、
下段高学年

長期的なスケジュールにおける防災教育

・令和３年８月～１２月の期間で計４回実施
・中学１年生、町内会など延べ９９人が参加
・避難所運営訓練や防災力強化を図るための講話及び町内各ポンプ場や避難所等の施設見学の実施



中学１年生を対象とした防災教育学習の様子

災害広報や防災講和、災害訓練等の実施

（警察の取組事例）

◆　円滑な災害応急対策に資することを目的に教育機関への災害広報や防災意識の向上のため管内に転入した外国人への防災講話を実施した。
◆　河川氾濫や道路冠水による災害に備えて救出救助訓練を実施した。

災害広報や防災講話の実施

・釧路町の小学校等で警察車両や災害装備資機材を展示する災害広報を実施
・管内に転入した外国人に対して防災講話を実施

災害広報の実施（釧路町）

外国人への防災講話

災害訓練の実施

・河川氾濫時などの水防災における救出救助技術の向上のためボートを使用した水難救助訓練を実施

水難救助訓練の実施（屈斜路湖）

森林整備・治山対策～防災・減災、国土強靭化～

（根釧西部森林管理署の取組事例）

◆ 釧路市・釧路町・標茶町・弟子屈町・鶴居村
森林の水源涵養機能の維持・向上のための間伐及び造林を実施しています。

◆ 弟子屈町
土砂の流出を抑制する治山ダムの設置を実施しています。

間伐中の状況

植付前の状況

対策前の状況

間伐後の状況

植付後の状況

対策後の状況

水源林造成事業

（森林整備センターの取組事例）

◆ 釧路川水系流域
流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施しています。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

次年度以降も引き続き計画的に除間伐等の森林整備を実施予定

1．キキクル（危険度分布）（釧路地方気象台の取組事例）

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

気象庁ホームページ　令和3年2月24日にリニューアル

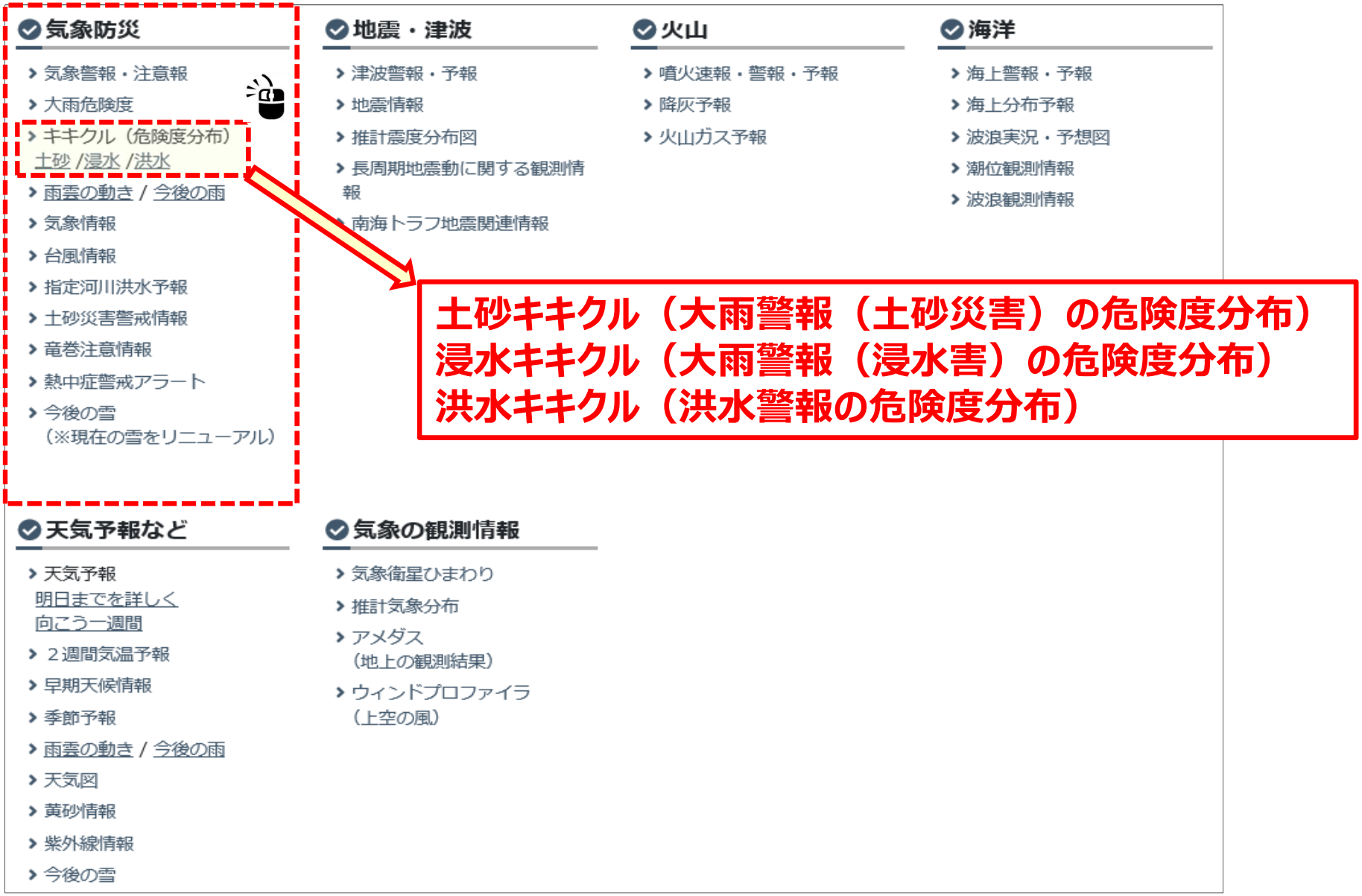
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

- 当該地域に発表中の防災情報が一目でわかるようにアイコン表示するとともに、様々な情報を1ページにまとめて表示。
- デフォルトでは、当該地域に重要な情報をページ上段に表示。（表示要素や順序は利用者独自のカスタマイズ可能）
- 防災担当者等に御活用いただけるコンテンツを新たに掲載。（「流域雨量指数」の予測値など）

1．キキクル（危険度分布）

（釧路地方気象台の取組事例）

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会



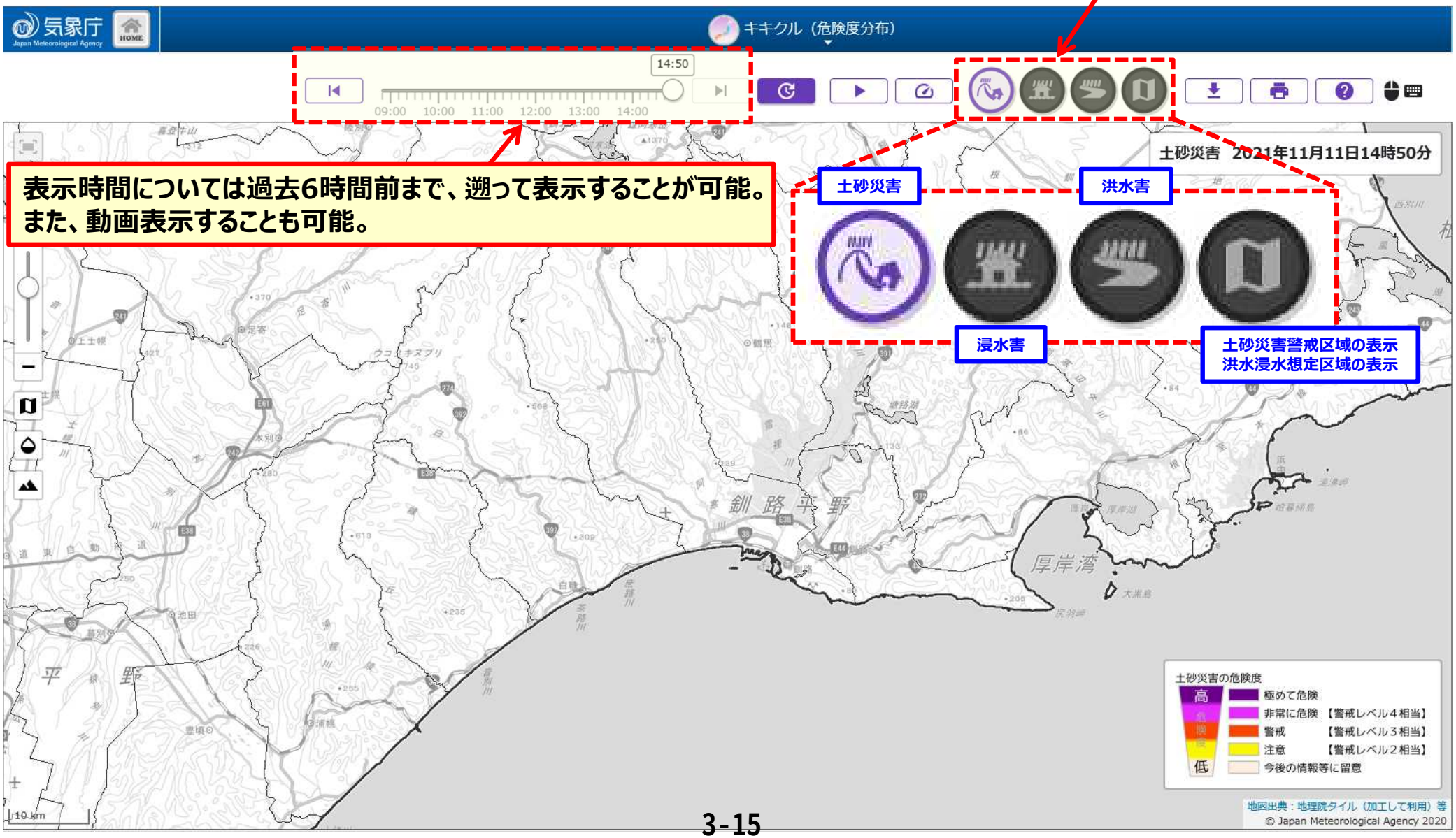
「キキクル（危険度分布）」では、大雨時の土砂災害、浸水害、洪水害それぞれの災害リスクの高まりを表す指標として表現した、**「土壌雨量指数、流域雨量指数、表面雨量指数」を用いることにより、より面的に災害リスクの高まりを把握することが可能**です。

1．キキクル（危険度分布）（釧路地方気象台の取組事例）

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

「キキクル（危険度分布）」では、大雨時の土砂災害、浸水害、洪水害それぞれの災害リスクの高まりを表す指標として表現した、**「土壌雨量指数、流域雨量指数、表面雨量指数」を用いることにより、より面的に災害リスクの高まりを把握することが可能。**

各種メッシュ情報については、上部にあるボタンで切り替えることが可能。

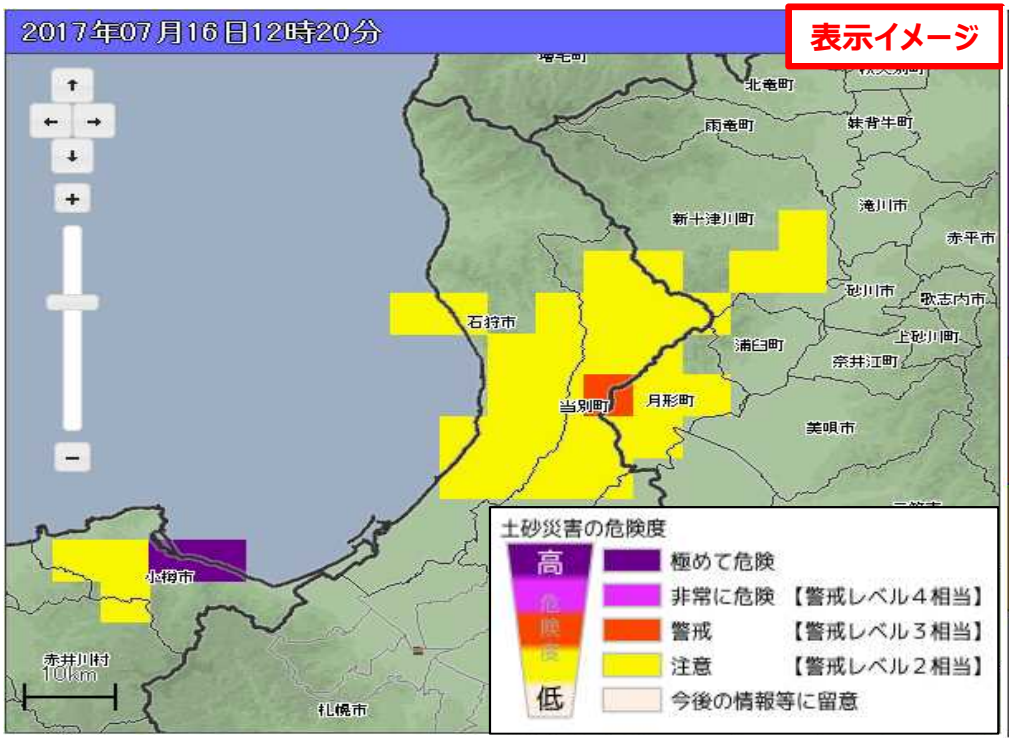


表示時間については過去6時間前まで、遡って表示することが可能。
また、動画表示することも可能。

1．キキクル（危険度分布）（釧路地方気象台の取組事例）

土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）

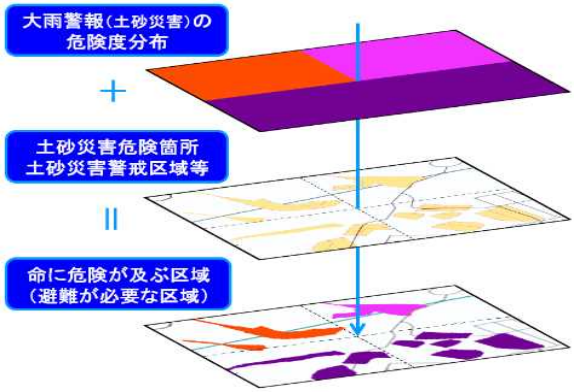
土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で１km四方の領域（メッシュ）ごとに５段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報等が発表されたときには、土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



■危険度の色と避難行動

色が持つ意味	住民等の行動の例※1	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル※2
極めて危険	《命に危険が及ぶ土砂災害が**すでに発生**していてもおかしくない極めて危険な状況。》 **この段階の前に避難を完了しておく。**	―※3	―
非常に危険	**速やかに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。**	避難指示	４相当
警戒	**土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。** **高齢者等は速やかに避難する。**	高齢者等避難	３相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	―	２相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	―	―

※1　土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）に関わらず、自治体から避難指示等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。
※2　警戒レベルについては内閣府ホームページをご覧ください。
※3　「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報（土砂災害）が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。



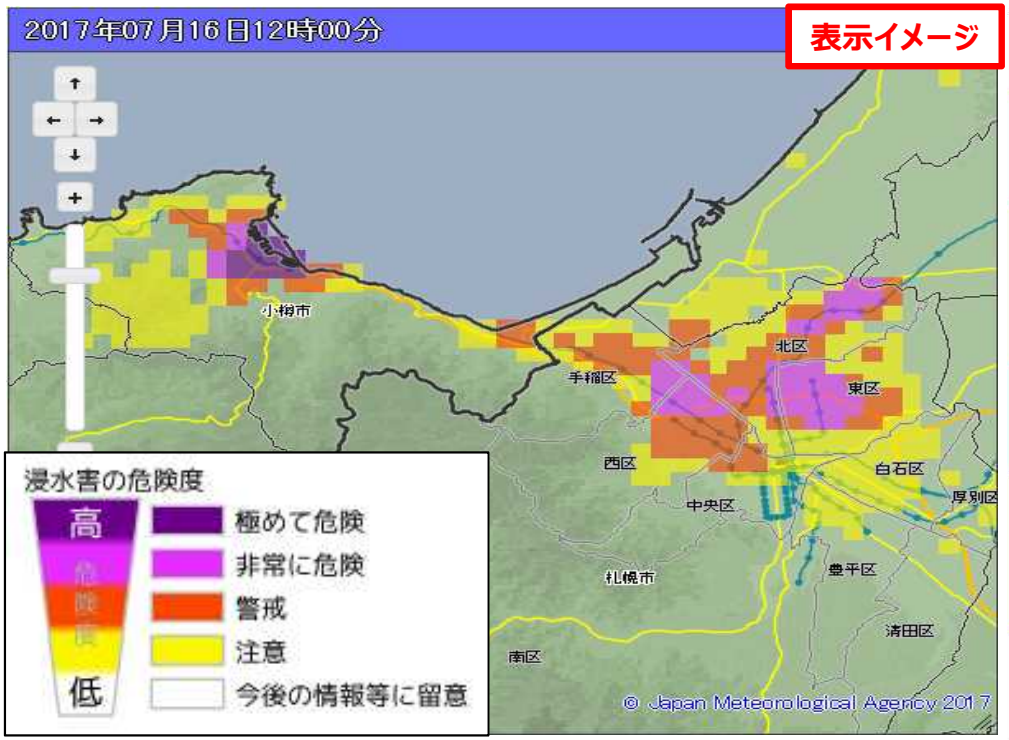
土砂災害警戒判定メッシュ情報を、あらかじめ都道府県が指定した土砂災害警戒区域等の危険な場所と重ね合わせることで、避難指示等の発令対象区域を絞り込むことができます。（内閣府「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」による。）

1．キキクル（危険度分布）（釧路地方気象台の取組事例）

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）

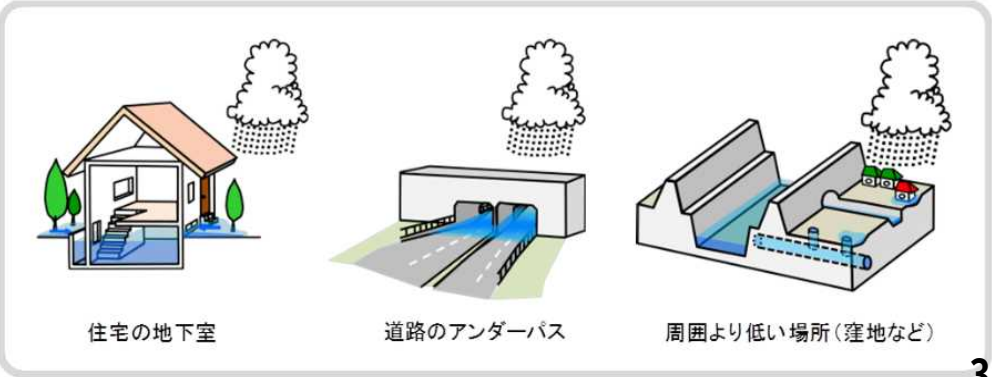
土砂キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）は、平成29年度出水期から、1時間先までの雨量予測を用いた表面雨量指数の予測値が大雨警報（浸水害）等の基準に到達したかどうかを地図上に5段階で色分け表示した「浸水キキクル」（大雨警報（浸水害）の危険度分布）を提供しています。これにより、大雨警報（浸水害）等が発表されたときに、実際にどこで浸水害発生の危険度が高まっているのかが一目で確認できます。



■危険度の色と避難行動

色が持つ意味	住民等の行動の例※	想定される周囲の状況の例
極めて危険	《重大な浸水害が**すでに発生**しているおそれが高い極めて危険な状況。》	
非常に危険	**周囲の状況を確認し、各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動する。**	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。 道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒	**安全確保行動をとる準備が整い次第、早めの行動をとる。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。**	側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
注意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、**各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。**	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。 住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。 周囲より低い場所にある家屋が、床下まで水に浸かるおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

※ 浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）に関わらず、自治体から避難指示等が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発表された場合は速やかに避難行動をとってください。



浸水で命に危険が及ぶ恐れがある場所

1．キキクル（危険度分布）（釧路地方気象台の取組事例）

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）

洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）は、大雨による中小河川（水位周知河川及びその他河川）の洪水災害発生の危険度の高まりを５段階に色分けして地図上に示したものです。危険度の判定には３時間先までの流域雨量指数の予測値を用いており、中小河川の特徴である急激な増水による危険度の高まりを事前に確認することができます。また、大河川で洪水のおそれがあるときに発表される指定河川洪水予報についても表示しており、中小河川の洪水危険度とあわせて確認することができます。

■危険度の色と避難行動

色が持つ意味	住民等の行動の例※1・2	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル※5
極めて危険	《重大な洪水災害が**すでに発生**しているおそれが高い極めて危険な状況。》	―※4	―
非常に危険	**河川水位が一定の水位を超えている場合には速やかに避難する。**※3	避難指示	４相当
警戒	**河川水位が一定の水位を超えている場合には避難の準備が整い次第、避難する。**※3 **高齢者等は速やかに避難する。**	高齢者等避難	３相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	―	２相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	―	―

■洪水に関する重要な情報

大 ← 流域面積・洪水時の被害 → 小

河川の分類	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川
洪水に関する重要な情報	・指定河川洪水予報 ・リアルタイム河川水位（川の防災情報）	・水位到達情報 ・リアルタイム河川水位（川の防災情報） ・洪水警報・注意報 ・洪水キキクル	・洪水警報・注意報 ・洪水キキクル

2．「流域雨量指数」の予測値（釧路地方気象台の取組事例）

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

「流域雨量指数」の予測値　https://www.jma.go.jp/jma/index.html

- 令和3年2月24日の気象庁ホームページリニューアルに合わせ、これまで防災情報提供システム（防災担当者専用）のみに掲載（提供）していた「流域雨量指数の予測値」を気象庁ホームページへ統合し掲載。
- 水位が急激に上昇する中・小河川における水位上昇のおそれを視覚的に把握し、早い段階から防災行動に繋げられるよう、引き続き、「流域雨量指数の予測値」を御活用ください。

流域雨量指数

基準超過で絞り込み	全て表示　基準Ⅰ　基準Ⅱ　基準Ⅲ
並び順切り替え	市町村順　河川順

過去12時間 ← 現在 → 6時間後

市町村	基準河川	基準Ⅲ 単独	基準Ⅱ 単独	基準Ⅱ 複合	基準Ⅰ 単独	基準Ⅰ 複合	23時00分	00時00分	01時00分	02時00分	03時00分	04時00分	05時00分	06時00分	07時00分	08時00分	09時00分	10時00分	11時00分	12時00分	13時00分	14時00分	15時00分	16時00分	17時00分	既往最大事例 指数	既往最大事例 日付
釧路市釧路	釧路川	34.3	17.4	15.6	13.9	10.3	1.0	1.0	1.0	1.0	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.0	1.0	1.4	1.4	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0	28.5	2013/09/16
	新釧路川					44.6	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.0	4.9	4.9	4.9	51.1	1992/09/12
	仁々志別川	20.3	16.9		13.5	8.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	16.8	1998/09/17
	別保川	32.0	26.7		21.3		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	26.6	2013/09/16
	武佐川	12.1	10.1	10.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	2013/09/16
	阿寒川	51.6	43.0	31.4	34.4	19.4	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	39.4	1995/09/28
	大楽毛川	9.1	7.6		6.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	1998/09/16
釧路市阿寒	仁々志別川	19.2	16.0		12.8		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	15.9	1998/09/16
	阿寒川	41.3	34.4		27.5		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.0	2.0	2.0	2.0	32.8	1995/09/28
	オトンベツ川	8.2	6.8		5.4		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	2005/09/07
	舌辛川	33.5	27.9		22.3		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0	25.9	2002/10/02
	シュンクシタカラ川	21.5	17.9		14.3		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	17.1	1995/09/27
釧路市音別	音別川	41.9	34.9		27.9		1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	32.9	1992/08/09
	尺別川	15.0	12.5		10.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.4	1997/09/27
	ムリ川	21.5	17.9		14.3		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9	1992/08/09
	風連別川	7.7	6.4		5.1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	1998/09/16
	キナシベツ川	10.7	5.4	4.8	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	1997/09/27

POINT!

過去12時間と6時間後の流域雨量指数の予測値を10分毎に掲載。

河道掘削の実施、堤防天端の保護

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（北海道の取組事例）

◆ 洪水氾濫を未然に防ぐため、流下能力が不足している箇所において、河川改修や、河道内の樹木や土砂の除去を実施した。
◆ 堤防天端の整備（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）を行っている。

河川改修及び河道内樹木や土砂の除去

・釧路川、別保川、阿寒川、春採川における河川改修の実施。
・河道内の樹木の伐採や土砂掘削の実施。

堤防天端の保護

・危機管理型ハード対策として、釧路川と別保川で堤防天端の舗装工を実施した。

春採川における掘削状況

庶路川における河道内樹木の伐採状況

別保川における改修状況

釧路川の堤防天端舗装の状況

別保川の堤防天端舗装の状況（路盤工）

防災資材備蓄整備施設の整備

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（北海道の取組事例）

◆ 水防活動を支援するため、土砂やコンクリートブロックを備蓄する防災資材備蓄整備施設の整備を行っている。

防災資材備蓄整備施設の整備

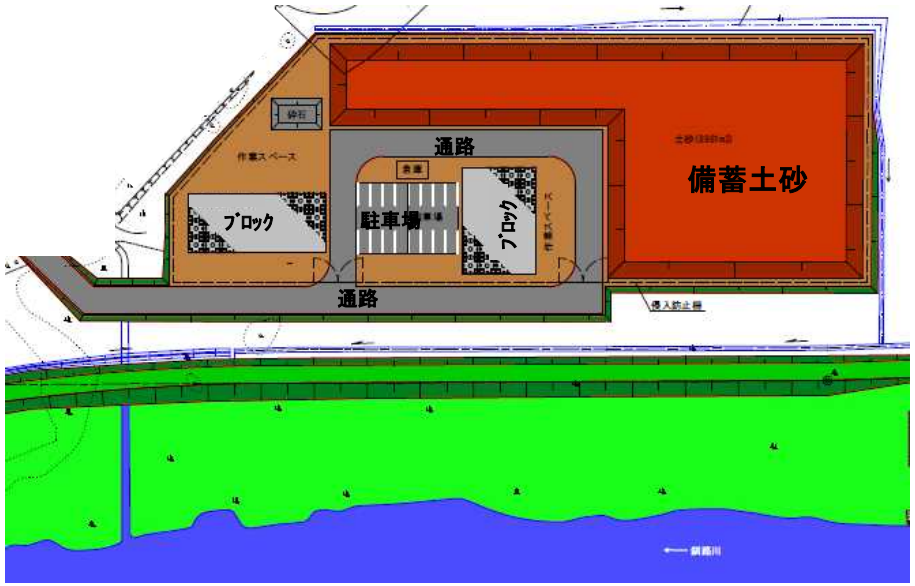
・釧路川において整備箇所の造成及びコンクリートブロック等の水防資材の一部購入。

H30　根固ブロック　N=150個　　R１　根固ブロック　N=193個　消波ブロック　N=334個

R２　盛土工　V=1,800m3　　舗装工　A=1,700m2

R３　進入防止柵　L=257m

防災資材備蓄整備施設の整備状況



防災資材備蓄整備施設（完成予想図）（釧路川）

北海道管理河川への量水標の設置

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（北海道の取組事例）

◆令和元年度に北海道が管理している釧路建設管理部管内の河川に監視カメラを設置しているが、現地の水位状況を把握するため量水標を設置する。

◆量水標は橋梁橋脚またはH鋼を建て込んで貼り付けるタイプとし、誰もが簡単に認識出来るように水位危険度により色づけを行う。釧路川では先行して令和元年度に設置している。

◆量水標は釧路管内31箇所、根室管内9箇所の合計40箇所を予定している。
令和3年度は釧路管内14箇所、根室管内5箇所の合計19箇所を設置予定。
令和4年度も引き続き設置予定。

釧路川（釧路市）に設置した量水標（令和元年度設置）

星ガ浦川（釧路市）の設置予定箇所

新たな水位周知河川指定へ向けた取組、ホットラインの拡充

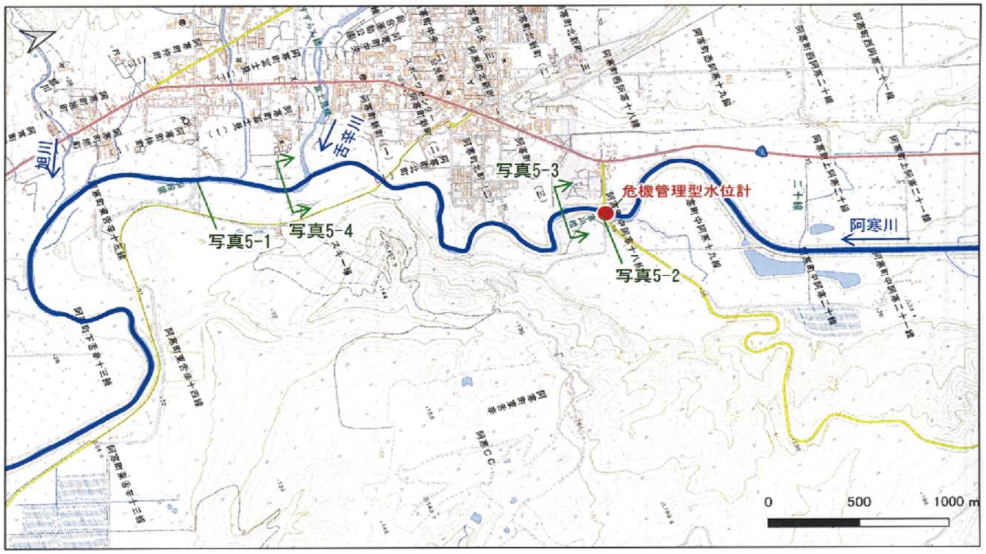
釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（北海道の取組事例）

◆ 新たな水位周知河川指定に向け、水位設定の検討や洪水浸水想定区域図の作成業務を実施。
◆ ホットラインの拡充（電話による情報提供により、避難指示等、発令の判断を支援する仕組み）

新たな水位周知河川指定に向けた取組

〇阿寒川
・阿寒町市街地を含めた区間を水位周知河川に指定するため、令和2年度に水位設定業務を実施。
〇舌辛川
・水位周知河川指定に向け、令和2年度に洪水浸水想定区域図の作成業務を実施。
令和3年度に水位設定業務を実施。



阿寒川水位設定箇所図

ホットラインの対象事象を拡充

・これまでの対象事象に加え、土砂災害警戒情報を追加。

〔別紙1〕

河川等防災情報ホットライン

〔令和3年10月1日〕

【事業課】※一部厚岸出張所　　【釧路市】

河川防災情報	伝達者	連絡先	受達者	連絡先
水位の情報に関すること	副局長 用地管理室長		防災危機管理監	
	維持管理課長 維持管理課主幹		防災危機管理課	
その他の防災情報	維持管理課長 維持管理課主幹		防災危機管理監	
	公物管理パトロールによるその他の防災情報：事業課長 事業課主幹		防災危機管理課	
	（別保川）公物管理パトロールによるその他の防災情報：厚岸出張所長 厚岸出張所次長			

提供する情報
【水位周知河川・水位通報河川】
（水位等の情報）
提供する情報：氾濫危険水位の到達情報（警戒レベル4相当情報）
：氾濫の発生及びその状況（警戒レベル5相当情報）
：土砂災害警戒情報の発表状況（警戒レベル4相当情報）
（公物管理パトロール等によるその他の防災情報）
提供する情報：破堤の恐れ、越水・溢水の恐れなどの防災上重大な事象
【その他河川】
（公物管理パトロール等によるその他の防災情報）
提供する情報：氾濫危険水位の到達情報、氾濫の発生及びその状況
：破堤の恐れ、越水・溢水の恐れなどの防災上重大な事象

対象
水位周知河川
釧路川　別保川　阿寒川
水位通報河川
阿寒川（大楽毛）　舌辛川　音別川　釧路川（旭橋）　仁々志別川
屋が清川

【その他施設等】
（公物管理パトロール等によるその他の防災情報）
提供する情報：道路崩壊・通行規制等による孤立情報
：崖崩れ・土石流等の発生情報
：防災上の重大な事象

北海道管理河川の洪水浸水想定区域の拡大について

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（北海道の取組事例）

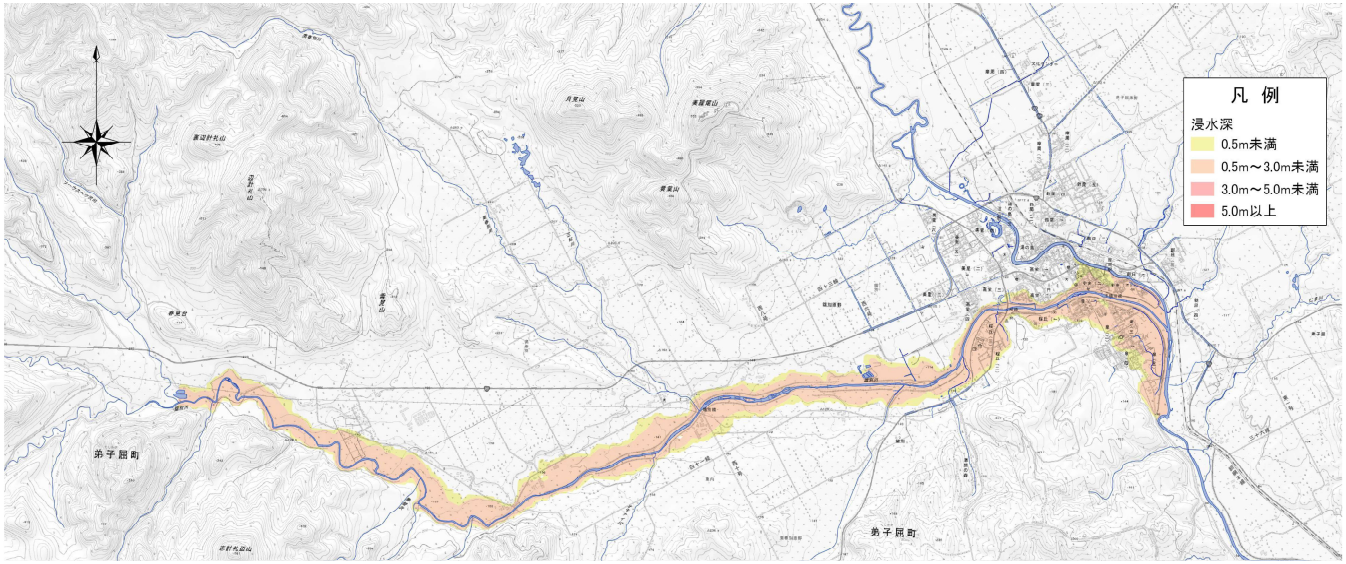
◆令和3年7月15日に「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」が施行された。

◆国は、法改正前には指定対象とされていなかった中小河川について指定対象に追加し、水害リスク情報の空白地帯の解消を目指すこととした。

◆北海道では平成30年度までに、管理河川の浸水想定区域図をiRICと呼ばれる簡易な手法を用いた方法により作成しており、これを道庁ホームページに令和4年3月までに公表する予定。

◆釧路建設管理部では令和3年12月までに釧路・根室管内の関係市町村へ概要を説明済み。

◆関係市町村では浸水想定区域図を用いてハザードマップ作成に反映。



釧路川水系鐺別川（弟子屈町）の
浸水想定区域図
（ iRICと呼ばれる簡易的な手法で作成）

北海道管理河川の洪水浸水想定区域の拡大について

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（北海道の取組事例）

● 「第１回中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会」より抜粋（国土交通省・令和２年１月７日）

北海道による「iRIC」を用いた浸水想定区域図

○ 北海道では、洪水予報河川及び水位周知河川に指定されていない河川における水害リスク情報を共有するため、iRICを用い想定最大規模の降雨による浸水想定図を作成し、市町村へ提供。

概要

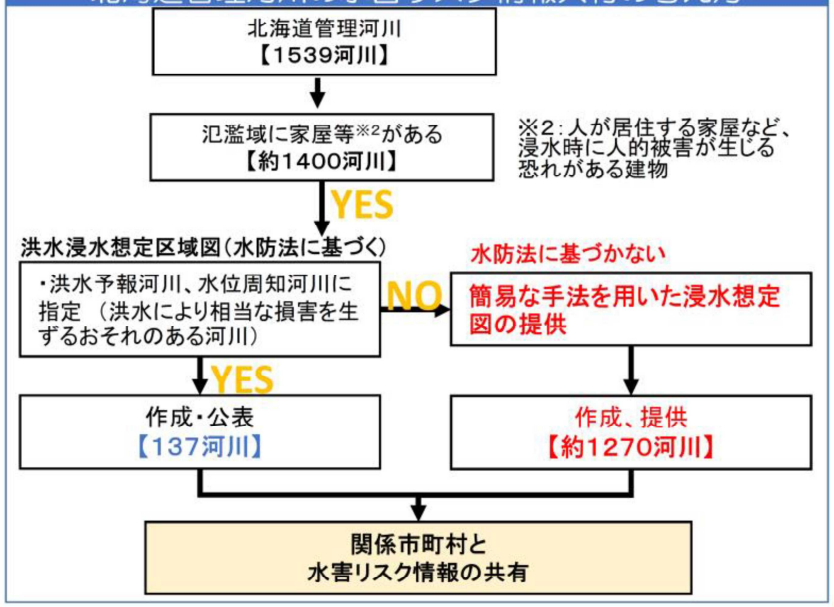
無料で利用可能な解析ソフト（iRIC※1）を用いた氾濫シミュレーションにより作成した浸水想定図を市町村へ提供している。

※1：無料で利用できる河川の流れや河床変動、氾濫解析のための高性能なソフトウェア
iRICホームページ：https://i-ric.org/

○　国土地理院で公開されている標高データを利用し、氾濫原モデルを作成。

○　想定最大規模の降雨を基に算出した流量を上流端に与え、iRICを利用し、平面2次元流計算による氾濫解析を実施。

北海道管理河川の水害リスク情報共有の考え方



活用事例

重要水防箇所の共同点検の実施

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（北海道の取組事例）

◆ 重要水防箇所について関係機関が参加する共同点検を実施。

重要水防箇所の共同点検

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

建設管理部より
重要水防箇所の説明

令和元年度の
共同点検の様子

建設管理部より
危機管理水位計の説明

河道掘削の実施【釧路川水系釧路川】

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（釧路開発建設部の取組事例）

◆ 釧路川弟子屈地区・標茶地区
氾濫による危険性が特に高い弟子屈・標茶市街地において、洪水を安全に流下させるために必要な河道掘削と堤防整備を実施しています。

弟子屈地区（釧路川左岸弟子屈町湯の島地先）
Ｒ３年度
河道掘削　Ｖ＝６，４００ｍ３
護岸整備　Ｌ＝４８５ｍ

標茶地区（釧路川左岸標茶町オソツベツ原野地先）
Ｒ３年度
堤防整備　Ｌ＝１，６６０ｍ

防災学習の実施

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

（釧路開発建設部の取組事例）

◆自然災害から命を守るためには幼少期からの防災教育が重要であることから、釧路開発建設部では学校教育における川の防災教育の支援を積極的に行っています。

◆令和3年度は標茶小学校、標茶高校で自然災害からみずからの安全を確保する ための知識、行動について講義を行いました。

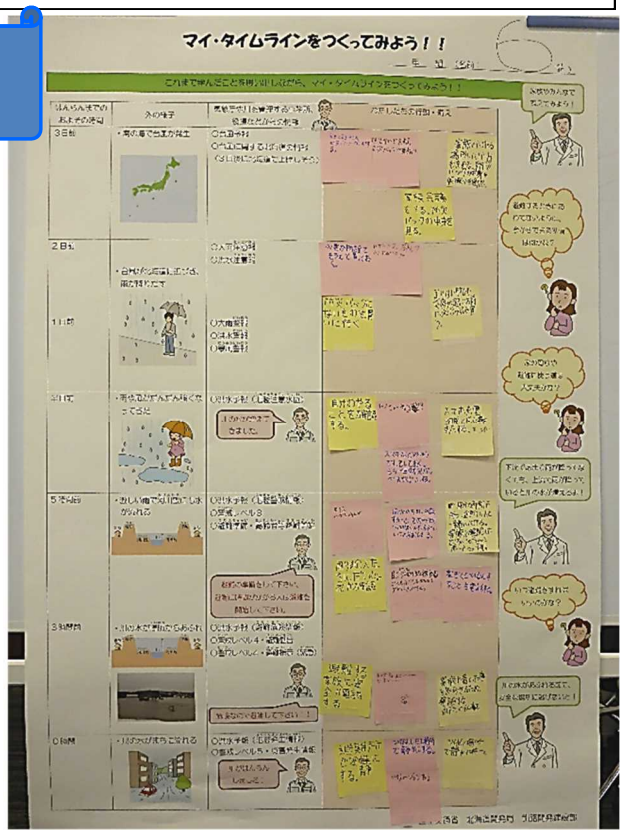
☆標茶小学校（6年生）防災学習

『マイ・タイムラインを作ろう！』

・近年の水害事例や災害時の行動について座学の後、「マイタイムムライン検討ツール」を使用し、実際に自分たちのマイタイムラインを作成。

☆標茶高校（1・3年生）防災学習

『大雨時におけるみずからの対応を考える』

・平常時および水害時における情報収集の重要性を解説のうえ、災害に直面した際「いつ」・「何をするのか」について「マイタイムライン検討ツール」を用いて講義を実施。

授業でつくった
マイ・タイムライン